

2025年8月2日
暁星中学高等学校
校長 高田裕和

暁星高等学校 フランス語学研修プログラムにおける重大事故の発生について

暁星高等学校が7月20日より実施しているフランスにおける語学研修プログラムにおいて、以下の事故が発生いたしました。

同プログラムは日本時間7月20日出発し、フランスのカヌヌにおいて実施。8月7日帰国予定。参加希望生徒の高校1・2年生（高校1年12名・高校2年生8名 計20名）・引率教員2名・添乗員1名で実施。

概要

フランス語学研修旅行にて、フランス到着2日目、7月21日午後5時半頃、南仏カンヌ市にて、海水浴を生徒17名、引率2名（残り3名は宿舎自室にて休養・待機）で行っていた最中、本校高校1年生の生徒1名が海辺から10～20m付近で溺れ、発見に時間を要したため、長時間の脳への酸素供給が行われず、脳が大きな損傷を受けました。その後、脳死状態に陥り、7月28日早朝に亡くなりました。

尚、この事故は、引率教員も帯同した中での出来事であり、当該生徒の単独行動や逸脱行動によるものではありません。

事故の経緯及び詳細については、事実確認の整理が不十分な状況です。今後、事故発生の原因の究明に努め、二度とこのような痛ましい事態を生まないための再発防止の徹底をまいります。その結果については、全校生徒の保護者会を開催し、ご報告する機会を設けることをお約束いたします。

今回は、大事な生徒をお預かりしたにも関わらず、尊い命が失われてしまうという痛ましい事態を招いてしまったこと、誠に慙愧に堪えません。またご家族のご心中を察するに、心からのお詫びをする以上の言葉が見つからないというのが偽らざる思いです。改めて、謝罪の意をお伝えするとともに、今後二度とこのような事態が起こらないようにするために、学校を挙げて尽力する所存でございます。

学校としては、一人の生徒の命が失われたということを深刻に受け止めております。そして、ご家族は勿論のこと、その生徒と学校生活を共にする中で交友を深めた暁星の生徒たち、また現在暁星に関わる全ての人間にとって、我々の大切な仲間であるご本人の失われた命に対して想いを馳せることが必要だと考えています。

また、同じ学び舎で学ぶ生徒たちにとって、この報に接し、大きな精神的な動揺なども考えられます。学校としても、カウンセラーなどとも連携し、生徒の心理的な動揺に対応してまいります。

学校の教育活動内で、このような事故が起こったことにつきまして、ご家族、関係の皆様にも多大なご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと、重ねてお詫び申し上げます。今後、本校全体の教育活動全般にわたって再発防止を徹底していく所存です。

以上